

平成 27年 06月 03日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

周防灘さんさんの家

グループの名称

周防灘ゼロエネ倶楽部

直近採択グループ番号

04-0133-0399

※過去に地域型ブランド化事業で  
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

長尾 栄一

代表者印

代表者所属先

株式会社長尾材木店

代表者構成員番号

Ⅲ-2, Ⅶ-2, Ⅷ-2

代表者所在地

福岡県北九州市門司区大里東口3-9

代表者電話番号

093-381-0879

(グループ事務局)

事務局事業者名

ヤマエ久野株式会社

事務局構成員番号

Ⅲ-1, Ⅶ-1, Ⅷ-1

事務局担当者名

泉 宏幸

印

事務局郵便番号

801-0841

事務局所在地

福岡県北九州市門司区西海岸三丁目19番3号

事務局電話番号

093-331-3737

事務局FAX

093-331-3538

事務局担当者E-mail

h.izumi@yamaehisano.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	周防灘さんさんの家
2. グループの名称(必須)	周防灘ゼロエネ倶楽部
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0133-0399
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	福岡県、山口県西部、大分県北部、佐賀県の一部、その他近隣市町村
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	長尾 栄一
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社長尾材木店
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅲ-2, Ⅶ-2, Ⅷ-2
9. グループ代表者所在地(必須)	福岡県北九州市門司区大里東口3-9
10. グループ代表者電話番号(必須)	093-381-0879
11. グループ事務局事業者名(必須)	ヤマエ久野株式会社
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅲ-1, Ⅶ-1, Ⅷ-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	泉 宏幸
14. グループ事務局郵便番号(必須)	801-0841
15. グループ事務局所在地(必須)	福岡県北九州市門司区西海岸三丁目19番3号
16. グループ事務局電話番号(必須)	093-331-3737
17. グループ事務局FAX番号(必須)	093-331-3538
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	h.izumi@yamaehisano.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	5	
II. 製材・集成材製造・合板製造	6	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	8	
IV. プレカット	1	
V. 設計	7	
VI. 施工	43	
VII. 省エネルギー設備等の流通	6	
VIII. 木材を扱わない流通	8	
IX. I～Ⅷ以外の業種	2	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の①、②、③の番号を番号記入欄に記入してください。 ① 都道府県の産地認証制度等によるもの ② 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) ③ 林野庁作成の「木材・木製製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの	国内・国外
				番号記入欄
	認証かごしま材	鹿児島県	認証かごしま材認証制度	1 国内
	合法木材	九州	合法木材証明制度	3 国内
	合法木材	アメリカ、欧州	合法木材証明制度	3 国外

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 119 戸		地域材加算合計 119 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 60 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 59 戸		
	うち申請が確実 17 戸	うち申請が確実 4 戸	地域材加算(うち申請が確実) 21 戸	
	うち申請が未確定 43 戸	うち申請が未確定 55 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 98 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 47 戸		地域材加算合計 47 戸	
	うち申請が確実 11 戸	地域材加算(うち申請が確実) 11 戸		
うち申請が未確定 36 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 36 戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 28 戸		地域材加算合計 28 戸		
うち申請が確実 2 戸	地域材加算(うち申請が確実) 2 戸			
うち申請が未確定 26 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 26 戸			
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実 0 棟	0 m <sup>2</sup>		
	うち申請が未確定 0 棟	0 m <sup>2</sup>		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	受注確定案件>邸名があり現在施主交渉中の案件>未経験工務店の案件>事務局連絡受付、の順で配分。且つ、ZEH>低炭>長寿命と高度な順とする。紛糾の際は合議。最終的には幹事会での協議採決とする。			
---	---	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 7 戸	交付申請戸数 2 戸	竣工済 1 戸	竣工予定 1 戸
	木造建築物			
採択棟数 0 棟	採択床面積 0 m <sup>2</sup>			



























1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 周防灘さんさんの家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県、山口県西部、大分県北部、佐賀県の一部、その他近隣市町村
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 周防灘ゼロエネ倶楽部	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0133-0399	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	周防灘地区は潮流の激しい関門地区を除けば海流は穏やか。一年を通じて比較的天候にも恵まれており海の幸山の幸には事欠かない。古来海路陸路上の交流も盛んである。平野部は少ないものの丘陵、海岸線の景観は美しく自然が広がりが干潟から美観地区に至るまでランドマークも多数存在する。建築を見渡せば在来工法の伝統を守り、徒弟を組み手加工に拘る大工層も多数存在する。本GPは地域文化を重んじ在来工法の考え方や技法を重用し住宅の耐久性を向上させると共に、ゼロエネに結び付く現代的な手法を取り入れ、高い省エネ性能を有した建築様式の完成形を模索すると共に産地から消費地を繋ぐ一連の地域経済への貢献に力点を置く。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	台風、降雪、暴風雨、白蟻等に対応した対策を講じる。耐力面材を使用する場合は壁倍率2.5倍以上の面材とする。防蟻防蟻処理(塗布、散布、注入、床下換気部材施工を問わない)。耐震等級については長寿命型は等級2必須。高度省エネ型に対しては任意ながら推奨事項とする。機能・外観等に優れた案件を会員へ紹介し、研究・改良を加え会として理想形を追求する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	外見上は特に共通した項目は設けない。木材の質感、居住空間の開放感溢れる従来の本格和風住宅は防犯や熱効率の観点から現代での十全な実現は困難。併しながらそのパツパツな思考(採光や通風等)は会員で共有し取組み課題とする。高温多湿な気候を考慮し四季を通じた風や光の取り込み方や通気工法等を研究。長期優良住宅以上の経験者の見解を尊重し未経験者への唱導と、何より実践に踏み出して頂くことを推奨する。	◎
④①～③の背景	本GPは前回のブランド化住宅の際に技術的な理由で参加出来なかった未経験工務店の意見を取り込み、且つ現会員の不満を解消すべく新たな取り組みを実施することにした。即ち、エリア、流通、納期、価格、品質に支障を来した山口県産材を使用せず、遍く賛同を得られ幅広く会員を募れる認証材、合法木材を主軸とした。更に参加希望の業者が広いエリアに在在する為、今回は山口西部～九州北部を網羅する本GPと山口東部～広島県に亘る瀬戸内GPと別途申請する運びとなった。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	尚、分割した二つのGPは双方の独自性と特色を具現化させる為に計画段階より仕様等の擦り合わせを一切行わず類似型を回避した。今後は個別に地域型住宅の研究、改善、普及と伝播に切実な取り組みを行う。	○

イ. 効率的な住宅生産体制の整備

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	木材;土台、柱、桁梁の全てに105角以上を使用。以上を主要構造材とし、地域材認証制度の認証を得た部材を使用。天然乾燥材を推奨。且つ、構造材総量の60%以上で使用することを必須とする。端柄材については間柱・根太については地域材認証制度の認証を得た乾燥材や合法木材を標準仕様とする。耐力壁、耐力面材仕様、耐震等級2を確保(高度省エネ型は任意)。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	流通の鍵を握り主たる価格決定権者である問屋、販売店で定期会合し、事務局補佐・メーカー絞込み・コスト削減と施工業者への情報と利益の還元を実施する。又、一次エネルギー消費量等のデータを共有し案件毎の確認を行う。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	具体的にはヤマエ久野熊本九州支店、榊長尾材木店、榊田中材木店、福利産業株、渡辺ハイパ株等を「幹部会」検討メンバーとし3ヶ月に1回必要時に会合開催。尚、榊エーディーエー級建築士事務所をアドバイザーとする。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	目先の利得に囚われない商道上的考え方の伝播。国策の重要性の認識向上促進。2020年東京オリンピックに向け一気に関心を和の文化、特に和の住まい等の提唱。未経験工務店に対する施工技術研修への参加促進。生産者との意思疎通。特に会合の主催と重要事項の伝達を担う。	○
b.		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	施工基準や実績の実例図書作成と通知。性能表示の確認。上棟後に立看板を用意。会の名前、施工業者名、使用部材とそのトレーサビリティ、認証、認定、性能等の表示を必須とする。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	設計最終段階で設計事務所での精査を必須とする。外皮、一次消費エネルギーはメーカー又は設計担当者が任を負う。構造躯体計算はプレカット工場のCAD計算のデータを元に検査する。又、会で専用チェックシートを作成し工務店はこれを基に都度確認。設計図書と共に工務店が管理し事務局へ提出を義務化。事務局も保管する。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	見積書作成段階よりメーカー名を明示。実例案件のパンフレットや標準仕様書の作成を検討。細部迄の統一は困難との意見も多いが、施主の理解度を深めるチラシ等は作成する意向。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	認定内容(長期、低炭)についても会員が一目で分かる様にFacebook等に記載又は会合時に配布。施工業者の見易さ、扱い易さに配慮する。外皮計算、一次消費エネルギー算出については会員が習得する迄はエーディーエー社、旭化成建材等での事前又は中間、最終確認を励行する。現場見学会も随時開催。施主のみならず未経験工務店に対する学習機会とする。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	活動状況や実績を会合時以外にHP、FacebookがSNS上で開示。	○

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 周防灘さんさんの家	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県、山口県西部、大分県北部、佐賀県の一部、その他近隣市町村
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 周防灘ゼロエネ倶楽部	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0133-0399	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	リビングベル、住宅あんしん保証のサービス等の活用。築後1,2,3,5,10,20年毎の点検を実施し、設計図書、確認申請関係書類、省エネ25年基準計算書等の履歴を保存。
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	実務上は施工業者の個別対応とするも事務局へメンテナンス結果報告を必須とする。施工業者と事務局は履歴を保存。
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	事務局等にてFacebook、HP、SNS等を利用した案件の進捗状況をアップ(特に会員の参考になる優れた物件、且つ施主様の掲載許可があるものに限る)。また施工業者主催の現場見学会を適宜実施。会として支援し未経験工務店や施主PRの機会とする。その他展示会開催時に住まいの相談窓口を開設する。
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	例会時の実績報告を義務化する事で対応。問題点を洗い出し改善案を協議。記録を保存する。
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	住宅あんしん保証等への加入促進(任意)。代替施工業者については住あん等と協議の上紹介に止める。
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	特に指定しない。白蟻点検等は建築業者としては本会に関係なく当然の実施すべき項目なので自主性に任せる。但し、瑕疵担保に関する検査結果等の事務局への報告等は義務付ける。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入	特になし。
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	H25年度省エネ基準適合の為に事務局主催で研修を実施。事務局にて平明なマニュアル等を作成する。G化事業普及の為に未経験施工業者の技術、理解、営業力の向上が必須。特に「住宅省エネルギー技術講習」は習熟、実践を求める。
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	年三回の例会開催時に設計事務所、メーカーの支援を得てZEHに向けた設備施工、フラット35、省エネ法等の研修を実施。
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	2020年ZEH標準化に向けた会員の達成までのロードマップを作成。本会終了後も向こう5年、10年に亘る会合の継続とGP外未経験業者への説明を逐次行い次期事業に備える。
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	設計、施工、流通毎のコスト削減、技術力研磨、工法研究、風土・地域適合への提案等を実施。会員から施主に至るまでコストアップを抑制する仕組み造りに取り組む。
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	施工業者全員且つ1社につき2名以上の参加を目標とする(一人親方の場合はこの限りではない)。
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	受講必須事項として通知済。H27年度開講を待つて順に参加。何故必要なのかの理解と実践の周知徹底及び会員の技術向上と平準化を図る。
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	他GPとの情報交換、メーカー新商材の研究等外部情報の収集に尽力する。経験工務店の取組内容の開示と会員間の技術革新の研究も実施。
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	上記を踏まえたモデルケースの検証。素案別検証実験のメーカーへの外部委託等。特に蓄電、創蓄連携システムとHemsの要点把握、検証、シミュレーションについては施工業者に現在頼る術はなく今後の検討課題とする。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入	特になし。



1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>周防灘さんさんの家</b>	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県、山口県西部、大分県北部、佐賀県の一部、その他近隣市町村
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) <b>周防灘ゼロエネ倶楽部</b>	(結成年) <b>2012年</b>
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	<b>04-0133-0399</b>	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組	◎
	②グループ全体における地域材の需給予測	◎
c	①-1 畳の活用	◎
	①-2 和瓦の活用	◎
	①-3 襖の活用	○
	①-4 障子の活用	○
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	◎
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	◎
	②地域の住まい方の継承につながる取組	○
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	◎
	④和の住まいの要素を取入れた取組	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	○
その他		
【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	○

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴  
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。  
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

**a.認定低炭素住宅、b.ゼロ・エネルギー住宅** 【基本的な考え方】

認定低炭素住宅、及び、ゼロエネルギー住宅ともに、H25年度省エネ基準における基準一次エネルギー消費量の20%以上の性能値を目標とし、断熱等性能等級4相当、一次エネルギー消費量等級5相当の仕様とする

※周防灘さんさんの家 性能と特徴(イメージ)

太陽光発電

外皮の高断熱化  
・UA値:0.8以下(目標)  
・ηA値:2.2以下(目標)

高効率給湯設備、高効率エアコン

高効率換気設備、LED照明



【パッシブデザインの採用】  
軒の出、窓高調整による日射のコントロール、等

伝統的なデザイン、和の住まいの要素、和のテイストの折り込み  
国産い草、藁床の採用等

開口部:半樹脂サッシ+Loe-E複層ガラス(推奨)

主要構造材に九州産木材を主に仕様

**c.優良建築物型**  
該当案件、業者なし